

RCC FORUM

No. 30



富岡 幸一郎 氏
(とみおか・こういちろう)

1957年東京生まれ。中央大学仏文科卒業。在学中の79年(21歳)「意識の暗室―埴谷雄高と三島由紀夫」で、「群像」新人賞評論優秀作を受賞。文芸評論家。関東学院大学文学部比較文化学科教授。

主著作に『戦後文学のアルケオロジー』『内村鑑三』『打ちのめされるようなすごい小説』『非戦論』『聖書をひらく』等。

※写真は富岡幸一郎氏 HP より転載

内村鑑三の 平和論

関東学院大学教授

富岡 幸一郎氏

●日時:2005年11月22日(火)

2時限 11:10~12:40

●会場:関西学院大学

上ヶ原キャンパス第4別館 202

—どなたでも聴講できます—

講演内容

平和の祈りで幕をあげたはずの21世紀は、アメリカの9.11テロをはじめ「新しい戦争」の時代となっている。高度な文明は平和をもたらすとの期待は裏切られ、文明そのものが暴力を生むという矛盾を示している。内村鑑三は、日本のキリスト者であるが、その非戦論(平和論)は、今日の戦争状態をどう超克するかの一つの道筋を我々に教えてくれている。聖書の信仰に基づく平和論のリアリティについて共に考えてみたい。